



令和7年度北海道立北方民族博物館企画展

開館35周年記念収蔵資料展

*Collection Exhibition Commemorating
the 35th Anniversary*

時間と空間を超えてきた資料が
北の文化を話しはじめる



- ❖ 2026 (令和8) 年1月31日(土) - 4月5日(日)
- ❖ 休館日 3月の月曜日 開館時間 9:30-16:30
- ❖ 会場 北海道立北方民族博物館特別展示室
- ❖ 観覧無料
- ❖ 主催 北海道立北方民族博物館
(指定管理者 一般財団法人 北方文化振興協会)

- a セイウチ鰐製衣服 エスキモー アラスカ/サボオンガ 1870-1880年頃
- b 白樺樹皮製笠 ウリチ ロシア/ブラバ ホジャール作 1988年作
- c オホーツク式土器 網走市モヨロ貝塚
- d クマ送り儀礼用手袋 ハンティ ロシア/ハンティ=マンシ自治区 1998年収集
- e 蓋付シダー樹皮・スプルース根製バスケット セイリッシュ カナダ 1920年頃
- f 馬乳酒容器 サハ ロシア/サハ共和国 2009年収集
- g トナカイ用鈴 エベンキ 中国/ホロンバイル 2004年収集
- h 仮面 クワクワカワクワ カナダ/キャンベルリバー 1989年ビル=ヘンダーソン作

撮影 城野誠治



北海道立北方民族博物館

Hokkaido Museum of Northern Peoples

〒093-0042 北海道網走市字潮見309-1

(天都山・道立オホーツク公園内)

電話 0152-45-3888 FAX 0152-45-3889

開館35周年記念収蔵資料展

北海道立北方民族博物館は、平成3(1991)年2月10日の開館から35周年を迎えます。当館では開館前から現在に至るまで、北方の諸民族に関する資料の収集に継続して取り組んできました。これらの収蔵資料は当館の活動の核を成すものであり、民族資料と考古資料、映像資料等によって構成されています。当館に収蔵されている資料は、現地の方々をはじめ、大勢のご理解とご支援によって集められました。

北方諸民族文化を総合的に紹介していることが当館の特徴であり、収蔵資料の中には、国内では当館でしか出会えないものもあります。当館が紹介する北方の諸民族が育んできた文化は、衣食住や狩猟技術、精神文化、言語など多岐にわたり、その多くは現代社会の変化の中で変容を余儀なくされてきました。一方で、暮らしの根幹に息づく価値観や技術など、変わらず受け継がれてきたものがあることも、収蔵資料を通して確かめることができます。

また、北方諸民族の文化は、日本が歴史の中で周辺地域と築いてきた交流・交易・文化的つながりを理解するうえで欠くことのできない要素です。加えて、北方諸民族の文化が示す自然観や社会観は、今日の社会的課題—持続可能性、多文化共生、地域アイデンティティの再考—に対しても、重要な示唆を与えてくれます。

本展では、当館が長年にわたり収集・保管してきた収蔵資料の価値と魅力を、当館職員・研究協力員の活動とともに紹介します。北方地域の先住民族の文化に触れ、その多様性と豊かさをより深く理解していただく機会となれば幸いです。

これまで当館を支えてくださったすべての皆さまに感謝申し上げます。

主なコレクション



岩崎昌子イヌイト壁掛けコレクション
くウサギを追いかけるワシ
カナダ



コリヤークコレクション
燻しトナカイ皮製衣服
ロシア/マガダン州/
セヴェロ=エベンスク地区
2004年作



モヨロ貝塚コレクション
クマ像
オホーツク文化



北方少数民族資料館
ジャッカ・ドフニコレクション
飼いたナカイ木偶
ウイルト 北海道網走 北川ゴルゴロ作



アクセス 網走駅前から約5km バス14分
(観光施設めぐり線、バス停「北方民族博物館」下車すぐ)
女満別空港から約17km 無料駐車場100台

講座 北方民族博物館の収蔵資料
日時 令和8(2026)年1月31日(土)
10:00-11:30
講師 笹倉いる美(当館学芸主幹)

 **北海道立北方民族博物館**
Hokkaido Museum of Northern Peoples
〒093-0042 北海道網走市宇潮見309-1
(天都山・道立オホーツク公園内)
電話 0152-45-3888 FAX 0152-45-3889